

令和3年第2回臨時会 (7月30日)				
	審議件数	可決・採択	否決・不採択	撤回
市長提出議案	1	1	0	0
陳情	1	0	0	1

令和3年第3回定例会 (9月1日～30日)				
	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続
市長提出議案	22	22	0	0
議員提出議案	13	5	8	0
請願	1	0	1	0
陳情	1	0	0	1

みたか議会だより

第324号

令和3年(2021年)11月3日

発行・三鷹市議会 ☎0422(44)0249 〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
三鷹市議会ホームページ <https://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/>



インターネット配信が行われた令和2年度決算審査特別委員会

令和2年度各会計決算を認定

引き続き健全な財政運営を

三鷹市議会は、令和3年第2回臨時会を7月30日に開催し、冒頭に3陳情第7号の撤回について承認した後、「令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第5号)」の市長提出議案を可決しました。

また、令和3年第3回定例会を9月1日から9月30日までの30日間の会期で開催しました。

定例会初日(9月1日)の冒頭に、「令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第6号)」の市長提出議案が提案され、即日可決しました。引き続き、初日、2日目の本会議(9月1日、2日)では、16人の議員が市政に関する一般質問を行いました(5～7面に一般質問の要旨)。

3日目の本会議(9月3日)では、市長から「三鷹市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例」など15件の議案の提案理由について説明が行われました。4日目の本会議(9月8日)では、市長提出議案4件を可決、5件の議案を所管の委員会に付託した後、令和2年度各会計決算議案6件に対する代表質疑を6つの交渉会派が行いました(4面に代表質疑の要旨)。決算議案については、同日設置の決算審査特別委員会に一括して付託され、審査を行いました(3面に決算審査報告の要旨等)。また、1件の請願を所管の委員会に付託しました。

5日目の本会議(9月30日)では、委員会の審査報告の後、市長提出議案5件を可決、決算議案5件を認定、1件を可決及び認定、請願1件を不採択としました。その後、市長提出の追加議案5件に同意、1件を可決するとともに、議員提出議案(意見書)について採決を行い、5件を可決、8件を否決、陳情1件を継続審査として、第3回定例会を閉会しました。

令和2年度各会計決算額 (単位:円)

会 計	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	92,363,418,752	89,432,490,056
特別会計	国民健康保険事業	17,294,632,734
	介護サービス事業	591,250,600
	介護保険事業	13,315,475,151
	後期高齢者医療	4,357,610,121
合 計	127,922,387,358	124,658,313,600

令和2年度下水道事業会計決算額(単位:円)

区 分		決算額
収益的収入及び支出	収入	3,421,557,478
	支出	3,339,676,581
資本的収入及び支出	収入	1,071,114,329
	支出	1,788,309,667

本号の主な内容

- 2面 ◇可決した議案
- 3面 ◇令和2年度決算審査報告
◇委員会の活動
- 4面 ◇代表質疑
- 5～7面 ◇一般質問
- 8面 ◇消防署から感謝状授与
◇本会議及び決算審査特別委員会インターネット配信
◇第2回臨時会・第3回定例会審議結果

議 会 日 誌 令和3年7月～9月

7月	15日	市議会安全確認訓練
	29日	議会運営委員会、各派代表者会議
	30日	本会議、議会運営委員会
8月	2日	総務委員会
	4日	厚生委員会
	5日	文教委員会
	6日	まちづくり環境委員会
	27日	議会運営委員会、各派代表者会議
9月	1日	本会議、議会運営委員会
	2日	本会議
	3日	本会議
	7日	議会運営委員会、各派代表者会議
	8日	本会議、決算審査特別委員会
	9日	総務委員会
	10日	文教委員会
	13日	まちづくり環境委員会
	14日	総務委員会、厚生委員会
	15日	決算審査特別委員会
	16日	決算審査特別委員会
	17日	決算審査特別委員会
	21日	決算審査特別委員会
	22日	東京外郭環状道路調査対策特別委員会、調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
	24日	三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会
	27日	議会運営委員会、各派代表者会議
	28日	決算審査特別委員会
	30日	本会議、総務委員会、文教委員会、まちづくり環境委員会、議会運営委員会

第2回臨時会

可決した
議案

市長提出議案

◆令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5億5千700万5千円を追加し、総額を70億51万4千円とするものです。

第3回定例会
可決した
議案

市長提出議案

条例

◆三鷹市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、情報提供ネットワークシステムの所管が総務大臣から内閣総理大臣へ変更されたこと等に伴い、規定を整備するものです。

◆三鷹市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、引用する法

律の条項等を改めるとともに、独自利用事務の規定を整備するものです。

◆三鷹市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

新たに職員となった者が行う服務の宣誓について、宣誓書の提出を任命権者等の面前で行うこと及び宣誓書に押印することを不要とするものです。

◆三鷹市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

固定資産課税台帳に登録された評価額に関する審査の申出の手続等において書面への押印を不要とするものです。

補正予算

◆令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億4千85万6千円を追加し、総額を70億4千907万円とするものです。

◆令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ8千908万9千円を追加し、総額を70億3千815万9千円とするともに、債務負担行為の補正を行うものです。

◆令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億5千54万3千円を追加し、総額を70億8千870万2千円とするものです。

決算

◆令和2年度三鷹市一般会

計歳入歳出決算の認定について

◆令和2年度三鷹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆令和2年度三鷹市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆令和2年度三鷹市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆令和2年度三鷹市下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和2年度三鷹市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

※以上6件の決算議案については3面に関連記事を掲載

契約

◆三鷹市牟礼老人保健施設大規模改修工事請負契約の締結について

牟礼老人保健施設の大規模改修工事に係る請負契約を締結するもので、契約の金額は、3億9千20万円、契約の相手方は、T S U C H I Y A ・入月建設共同企業体です。

指定管理者の指定

◆三鷹市総合スポーツセンター及び三鷹市生涯学習センターの指定管理者の指定について

指定管理者に、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を指定するものです。

◆三鷹市新川テニスコート及び三鷹市大沢総合グラウンドの指定管理者の指定について

指定管理者に、公益財団

法人三鷹市スポーツと文化財団を指定するものです。

◆三鷹中央防災公園の指定管理者の指定について

指定管理者に、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を指定するものです。



三鷹中央防災公園・元気創造プラザ総合案内

人事・その他

◆教育長の任命について

貝ノ瀬 滋氏(再任)

◆総合オンプズマンの委嘱について

中村 一郎氏(再任)

片桐 朝美氏(再任)

◆名誉市民の推挙について

安田養次郎氏
現在の三鷹市政の基礎となる「高環境」「高福祉」のまちづくり、「市民参加のまちづくり」を推し進めた安田養次郎氏の功績を称えるため、三鷹市の名誉市民に推挙するものです。

◆名誉市民の推挙について

沼尻 竜典氏

世界的に高い評価を得ており、我が国を代表する音楽家の沼尻竜典氏の功績を称えるため、三鷹市の名誉市民に推挙するものです。

議員提出議案

意見書(要旨)

指定管理者に、公益財団

◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

本市議会は、国会及び政府に対し、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望する。(1)令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。(2)固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。(3)令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。こと。(4)令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、さらなる延長は断じて行わないこと。(5)炭素に係る税を

創設または拡充する場合に、その一部を地方税または地方譲与税として地方に税源配分すること。

◆新型コロナウイルス感染症ワクチンの安心・安全、円滑な接種の促進を求める意見書

本市議会は、国会及び政府に対し、次の事項について実現するよう強く求める。(1)ワクチン接種の意義、ワクチンの有効性及び安全性、副反応情報、健康被害が生じた場合の予防接種法に基づく救済制度など、正確かつ具体的な情報を迅速かつ分かりやすく伝えるとともに、接種についての疑問や副反応の不安等について誠実に答えること。若年層でワクチン接種が進んでいない現状に鑑み、SNS等を駆使した情報発信等の対策に努めること。(2)6月下旬以降、ワクチン需要に供給量が追いつかなくな

り、集団接種の中断、予約受付停止が相次ぎ、職域接種も中断を余儀なくされるなど、政府の想定のご甘さでワクチンの供給状況の確かな説明の不足が大きな混乱をもたらした。ワクチンの確実な供給に努めるとともに、供給するワクチンの種類・配分量、日程等を可能な限り早期に具体的に確定させること。予約の取消し等に追い込まれている自治体や企業・団体、医療機関等への支援に万全を期すこと。(3)ワクチンの接種体制確保のための財政支援を強化するとともに、現場の自治体や医療機関等のそれぞれの状況に丁寧な寄り添い、国としてのあらゆる資

源を総動員した支援策を強化すること。(4)ひとり暮らしの高齢者やホームレス、外国人など、ワクチン接種の希望者が一人も取り残されることなく、ワクチン接種の機会を早期に得ることができるよう情報提供を強化するとともに、地域の見守りと連携した巡回接種、訪問接種等の環境整備を進めていくこと。(5)ワクチン休暇の導入の支援をはじめ、国民が安心して接種できる環境整備を進めること。(6)国民の生命と安全を守るワクチンを自前で確保するため、国産ワクチン開発や製造体制強化への支援をこれまで以上に強力に行うこと。(7)ワクチン接種への同調圧力が憂慮される中、ワクチン接種が進む一方で、接種の有無や接種意思の有無による誹謗中傷や差別、行動制限、職業上の制限などの不利益がないようガイドライン策定や相談体制の整備を行うこと。いわゆるワクチンパスポートについては、当面海外渡航用に限るものとし、社会的・福祉的サービス等が受けられないといったことなどがないよう十分な配慮を行い、慎重に対応すること。

(8)在外邦人の接種を促進するため、一時帰国接種に加え、現地で接種を望む声が大きいことから、大使館の医師官による接種や現地の病院との提携による接種を進めること。

◆ジェンダー平等施策を進めることを求める意見書

本市議会は、政府に対し、コロナ禍を乗り越え、命を守るためにも、国が雇用や

社会保障制度、税金の使い方を直し、日本のジェンダー平等を前に進め、希望を持つて生きられる社会をつくるために次の事項を要望する。(1)結婚しても自身の名字を自由に選べる選択的夫婦別姓制度を取り入れること。(2)女性差別撤廃条約の選択議定書に批准すること。(3)女性の貧困やDV対策など、国のジェンダー施策を強めること。(4)パートナシップ制度をはじめ、LGBTQなど、ジェンダーに配慮した制度をつくること。

◆沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

本市議会は、国会及び政府に対し、次の事項が速やかに実現されることを強く要請する。(1)悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。(2)日本で唯一、住民を巻き込んだ奇烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み戦没者の遺骨収集の推進に関する法律により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

◆玉川上水の生物多様性を守ることを求める意見書

本市議会は、東京都に対し、次の事項を強く求めるものである。(1)玉川上水の水路保全・樹木対策に関しては、生物多様性を持った適切な生態系が維持されるよう環境への配慮をすること。(2)作業実施に当たっては、事前にその時期、方法等について、地域住民や自然保護団体等から意見を聞く場を設け、丁寧な対応に努めること。

社会保険制度、税金の使い方を直し、日本のジェンダー平等を前に進め、希望を持つて生きられる社会をつくるために次の事項を要望する。(1)結婚しても自身の名字を自由に選べる選択的夫婦別姓制度を取り入れること。(2)女性差別撤廃条約の選択議定書に批准すること。(3)女性の貧困やDV対策など、国のジェンダー施策を強めること。(4)パートナシップ制度をはじめ、LGBTQなど、ジェンダーに配慮した制度をつくること。

令和2年度決算
審査報告の概要

審査報告(要旨)

『河村市長の就任後初めての本格予算の編成となった令和2年度の本市の予算執行は、一般会計の歳入決算額は92億6千300万円余で、前年度比10億2千700万円余、26・1%の増、また歳出決算額は89億3千200万円余、前年度比17億1千800万円余、24・2%の増であり、予算に対する収入率は96・4%、執行率は93・4%であった。また、歳入歳出の差引き額は29億3千万円余で、翌年度への繰越財源額を差し引いた実質収支は、27億8千200万円余となった。一方、全会計における歳入決算額は1千29億2千200万円余で、前年度比15億7千万円余、13・7%の増、歳出決算額は1千246億5千800万円余、前年度比13億4千600万円余、12・3%の増であり、予算に対する収入率は96・3%、執行率は93・9%となる中で、執行となった。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、「新型コロナウイルス感染症緊急対応方針」で取組の方向性を示しながら、暮らしに密着したきめ細かな支援や対策を最優先としつつ、「新都市再生ビジョン(仮称)」の策定に向けた取組、三鷹市PCRセンターの設置及び運営、プレミアム付商品券事業の実施、三鷹駅前中央通り東地区再開発事業の推進、児童・生徒一人一台タブレット端末の整備など、各施策を推進することで、基本構想が掲げる「人間のあすへのまち」の実現に向けて、「高環境・高福祉のまちづくり」を進めたところである。当該決算年度の財政指標は、経常収支比率が89・4%となり、前年度との比較で4ポイントの減となったほか、公債費比率、人件費比率についても財政目標を達成した。また、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や延期、手法の変更などにより、歳出の執行率が大幅な減となり、一般会計で27億8千200万円余の実質収支が生じることとなったが、今後もコロナ禍への対応をはじめ、厳しい財政状況が見込まれることから、引き続き健全な財政運営を期待するものである。本委員会は、このような状況を踏まえつつ、令和2年度における予算執行とその行政効果等について、鋭意審査を進めた結果、本決算議案についてはいずれも原案を認定すべきものと決定した。』

附 帯 意 見

一般会計(歳入)
1 コロナ禍で予想される財政支出を鑑み、国及び東京都に対して地方財源の拡充を求めること。

一般会計(歳出)
1 新型コロナウイルススワクチン接種実施本部の設置による各職場への影響を踏まえ、職員定数の見直しや柔軟で機動的な組織体制の確立について検討すること。また、多様な働き方を推進するため、在宅勤務のさらなる活用を進めるとともに、職員配置の在り方について検討すること。

2 ふるさと納税の返礼品については、公益財団法人徳間記念アニメーション文

化財団の協力を得る等の工夫をしながら、三鷹市らしい返礼品を検討すること。
3 新都市再生ビジョン(仮称)の策定に当たっては、三鷹駅前再開発についての課題や期待する効果を明確にしてスピード感を持って進め、市庁舎・議場棟等の建て替えについては実現に向けて早急に取り組むこと。

▽民生費
1 令和3年4月に目標としていた保育園の待機児童解消、学童保育所の待機児童解消に向けて、今後も計画的に取り組むこと。
▽衛生費
1 新型コロナウイルス感染症への対応策については、国・東京都の状況を注視し、市民・事業者にとって必要な施策を迅速に進めること。

▽教育費
1 学校給食費の公会計化に向けて取り組むこと。
2 タブレット端末の活用にあたっては、特に個別最適化された学びの実現やオンライン学習に最大限生かせるよう、効果的使用方法について絶えず研究を行うこと。

▽総務費
1 新型コロナウイルススワクチン接種実施本部の設置による各職場への影響を踏まえ、職員定数の見直しや柔軟で機動的な組織体制の確立について検討すること。また、多様な働き方を推進するため、在宅勤務のさらなる活用を進めるとともに、職員配置の在り方について検討すること。

委員会の活動

令和3年7月～9月

総務委員会

8月2日

【行政報告】

▼まちづくり研究員の取組について
▼学生によるミタカ・ミライ研究アワードについて

▼市民参加でまちづくり協議会について
▼みたか平和資料コーナーの拡充について

▼情報セキュリティに関する取組
9月9日、14日

【議案】
▼令和3年度三鷹市一般会計補正予算(第7号)
▼三鷹市牟礼老人保健施設大規模改修工事請負契約の締結について

Ⅱ以上2件、原案可決
【請願】
▼消費税率の引下げとインボイス制度の実施中止を求めることについて

Ⅱ不採択
【行政報告】
▼「基本構想」と「基本計画」の改正等の考え方について

▼人権基本条例(仮称)制定に向けた進め方について
▼市民参加でまちづくり協議会について

▼住民情報システムの共同利用(東京自治体クラウドの導入)について
▼新型コロナウイルスの感染状況を踏まえたイベント対応について

9月30日
▼総務委員会審査報告書の確認について

文教委員会

8月5日

【行政報告】

▼令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和2年度分)報告書について
▼令和2年度に発生した三鷹市立小・中学校における体罰等の実態について

▼服務事故の再発防止に向けた取組の徹底について
▼学園・学校の管理運営における児童・生徒の意見を聞く機会の確保について

▼三鷹スクール・コミュニティ推進会議の設置について
▼大沢野川グラウンドの復旧・整備に向けた基本設計について

▼ふるさと納税を活用した三鷹市立アニメーション美術館の運営支援について
▼三鷹中央防災公園・元気創造プラザ 施設運営の基本的な考え方について

▼三鷹路線人道橋に関するこれまでの経過について
9月10日

【議案】
▼三鷹市総合スポーツセンター及び三鷹市生涯学習センターの指定管理者の指定について
▼三鷹市新川テニスコート及び三鷹市大沢総合グラウンドの指定管理者の指定について

Ⅱ以上2件、原案可決
【行政報告】
▼東京2020オリンピック

ク・パラリンピック競技大会等の取り組みについて
▼新型コロナウイルス感染症への対応状況について

▼令和4年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書について
▼三鷹教育・子育て研究所三鷹のこれからの教育を考える研究会最終報告について

【議案】
▼三鷹中央防災公園の指定管理者の指定について
Ⅱ原案可決
【行政報告】

▼三鷹駅前周辺地区土地利用の方針(原案)について
▼新都市再生ビジョン(仮称)における学校施設長寿命化計画(仮称)策定に向けた基本的な考え方(主な内容)について

9月30日
▼文教委員会審査報告書の確認について

8月4日
【行政報告】
▼三鷹市新型コロナウイルススワクチン接種について

▼三鷹市新型コロナウイルススワクチン接種実施計画(2・0版)
9月14日

【行政報告】
▼新型コロナウイルススワクチン接種について
▼旧どんぐり山施設活用プロジェクト「福祉Labo」どんぐり山(仮称)事業計画の策定について

8月6日
【行政報告】
▼三鷹市コミュニティバス将来的なあり方方針(素案)パブリックコメントの結果について

9月24日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

9月22日
▼三鷹市閉会中継続審査申出調査検討特別委員会

監査委員の意見



吉野監査委員
(議会選出)



奈良代表
監査委員

審査に付された一般会計をはじめ、各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類、下水道事業会計の決算書及び決算附属書類は、重要な点において、法令に適合し、かつ正確であると認められた。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

厳しい財政状況下において、各部における主体的な経営努力により限られた財源を有効に活用し、計画した諸事業を実施してきたこと、地方公営企業法適用初年度としておおむね適正に事業運営がなされたことを評価する。健全な行財政運営を継続するとともに、活力に満ちたまちづくりの実現を願う。

「声の議会だより」をご利用ください
本紙の内容をカセットテープ及びデジタイズ版CDに録音した「声の議会だより」を発行しています。ご希望の方にお届けしていますので、議会事務局までご連絡ください。

一般質問

9月1日、2日の本会議で、16人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

高齢者、引きこもり等の孤立化対策を推進せよ



民主緑風会
岩見 大三 議員



議員 単身高齢者の不安要素を軽減することが重要だ。コロナ禍での単身高齢者の見守りは、感染の危険から従来と違う課題があったと考える。状況を伺う。

市長 外出自粛で周囲との交流や相談件数も減少し、安否が心配な状況があったが、地域包括支援センター職員が戸別訪問し、生活状況の把握等をしたことで支援と掘り起こしができた。

議員 単身高齢者の認知症対応の取り組み等を伺う。

健康福祉部調整担当部長 認知症の症状がある人を、支援チームが訪問・面談し医療機関等へつなげるなど、個別の状況に応じた寄り添った支援をしている。

議員 これまでの孤立死対策の取り組みや今後の方向性について伺う。

健康福祉部調整担当部長 市と協定を締結した地域団体や企業等が安否確認等を行うなど、協働の取り組みを行っている。今後も関係団体と課題を共有するなど、連携強化を図りたい。

議員 8050問題には、引きこもり、介護、生活困窮など、多分野にまたがる課題解決が必要だ。ワンストップで対応できる体制づくり等今後の対策を伺う。

健康福祉部調整担当部長 世代や属性を超えたアウトリーチや相談支援に対応できる体制づくりを検討していきたい。

議員 孤立化防止の取り組みの啓発、情報収集、相談体制の簡略化のために、孤立化防止のセクションを設けるべきではないか。

市長 特定の部署を設けるのではなく、それぞれの専門部署が一層連携を図ること、より早く適切な支援につながることを考えている。

人に優しく、もっと住みやすいまちづくりを



民主緑風会
小幡 和仁 議員



議員 都内23区は各区主体で各区に保健所があるが、本市には本市が設置主体の保健所がない。本件について

の所見を伺う。

市長 本市だけではなく、いずれの市も同様に、個別のプライバシーに関わることは保健所から伝わってこない。そのため、きめ細かいところからサービスをできるというのが基礎自治体のメリットだが、それができていない。近隣の市とともにそのような課題を真剣に考えていかなければいけない時期に来ていると思う。

議員 世界的にウォークアブルなまちづくりが推進されている。本市も緑と水のまちとして歩行者や自転車優先したまちづくりをすべきだ。所見を伺う。

都市整備部長 多様な交通手段の重ね合わせや地域の特性、課題を踏まえ環境に配慮した低炭素な交通手段等を検討していく。

児童・生徒・保護者が安心できるまちづくりを



民主緑風会
谷口 敏也 議員



議員 PTA等が登下校の見守りを行っている地域もあるが全校ではない。児童・生徒の通学路の安全を確保するため、人による見守りを事業化するべきだ。

市長 子どもたちの安全については地域の人も大きな注目をしている点なので検討していきたい。

議員 スクールゾーンの指定時間帯にもかかわらず車の通過が後を絶たない場所があるため、交通法規を守らせる対策が必要だ。現状認識と対応策を伺う。

都市整備部長 故意ではない場合もあると認識している。

議員 東八道路等を活用して低炭素な乗り物であるモノレール等の導入等を検討すべきだ。所見を伺う。

市長 簡便なのはバスだと考える。本市にとって重要なのはどちらかといえは小型の電気バス等だが、そのような無公害型交通手段の導入については喫緊の課題として認識している。

議員 大沢、北野地区等、買物困難地区の解消に向け機動的に用途地域の変更を検討すべきだ。所見を伺う。

都市整備部調整担当部長 店舗の出店に際しては市場性や事業性が問題となる。また、用途地域を緩和した場合、様々な建物も建築可能になるため地域の合意形成を行い丁寧なまちづくりを進めていく必要があると考えている。

市民の命と暮らしを守る施策の充実を



日本共産党
紫野あすか 議員



教育長 専門家などの助言を受けながら再発防止研修を行った。また、学校における教員個人のスマートフォンの使用や教室内への持ち込みを禁止するなどの具体的な改善策を実施した。

議員 性犯罪により懲戒免職となった教員に再び免許取得をさせないための法改正も必要だ。所見を伺う。

教育長 児童・生徒にたいせつ行為を行った教員が再び教壇に戻ることはあってはならないという立法趣旨には大いに賛成する。

議員 コロナ禍で誰もが孤独を感じながら生きていく。人と人とのつながりが重要となっている今、本市でもパートナーシップ制度の制定を進めるべきだ。

市長 本年度からの人権基本条例（仮称）の検討プロセスを経て、市民の理解と共感を得ながら、制度の在り方についても重点的に考えていきたい。

議員 自分の名前は、自身の生きてきた証でありアイデンティティーそのものだ。姓を選べる選択的夫婦別姓を進めるべきだ。

市長 個人のアイデンティティー、家族観、子どもへの影響などに関連する重要な問題と認識している。法律上の制度については、国での議論を注視したい。

議員 児童・生徒に配付しているタブレットは、家庭にWi-Fi環境がないと使えないと考える。

教育長 基本的には指摘のとおりだ。そのようにしていきたいと考えている。

コロナ禍から市民生活を守る市政運営に努めよ



日本共産党
栗原けんじ 議員



議員 市民協働センター、地区公会堂等への夜間利用制限緩和の要望がある。夜間利用制限等を行う理由、再開等の見通しを伺う。

生活環境部長 市民協働センターは都の不要不急の外出自粛の要請に基づき、地区公会堂は利用状況の管理徹底に課題があることなどから夜間の利用を制限している。今後の再開等は都の対応状況や新型コロナウイルスの感染状況等により判断する。

議員 公会堂さんさん館会議室において夜間利用制限を行う理由、今後の時間延長の見通しを伺う。

スポーツと文化部長 都からの不要不急の外出自粛要請、営業時間短縮の要請等を踏まえ開館時間を短縮している。今後も緊急事態宣言等を踏まえ各施設の開館時間を判断していく。

議員 介護施設等の補正給付制度の変更により影響を受けた市民の人数を伺う。

健康福祉部長 制度改正の影響かは不明だが改正前後で認定者は10人減少した。

議員 コロナ禍の厳しい状況で介護施設等利用者の食費等の負担増は中止すべきだ。政府へ負担増の中止等を求める考えはないのか。

健康福祉部長 在宅で暮らす人との公平性の確保等の観点から、より細やかに負担能力に応じた負担を求める今回の改正は必要であると認識しており、見直しを求めることは現時点では考えていない。

議員 市は負担が増える人を支援できないのか。

健康福祉部長 現状、市独自で介護保険料軽減制度など、低所得者向けの負担軽減制度を実施しており、今回の制度改正による支援を新たにを行う予定はない。

希望ある未来のための施策に取り組み



日本共産党
大城 美幸 議員



三鷹市公会堂さんさん館

議員 気候変動の科学的根拠を示したIPCC報告書において気温が1.5度上昇する時期が10年早まったことについて所見を伺う。

市長 温暖化は市民生活にも影響を与えるものと考えている。

議員 三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）が平成31年3月に策定されているが、気温が1.5度上昇する時期が10年早まったと国に意見を上げてほしい（6面へ続く）



回収、選別されリサイクルされるプラスチック等

ではないか。所見を伺う。
都市再生部長 市は大深度地下の公共的使用に関する特別措置法について判断する立場にないが、再発防止対策が徹底されるまでシールドトンネル工事を再開しないよう求めていく。
議員 陥没箇所と似た地層が本市には3カ所あり、関東ローム層になっている。建造物を作るには最低50以上と言われるN値が関東ローム層は2から8だ。陥没の危険は否めず、中止としか言えないのではないかと。市はしっかりと調べてもらい、その上で判断したい。
議員 環境に影響があるかを市でも調べるべきだ。地域に対する土壌調査等、国が出しているものを市として分析を行ってはどうか。
市長 国の調査をうのみにするのは避けていきたい。



いのちが大事
嶋崎 英治 議員

プラスチックフリー宣言の
まち・三鷹を目指せ



議員 本年6月、いわゆるプラスチック資源循環促進法が公布され、製品プラスチックは可燃ごみから資源ごみに変わる。本市の分別収集・運搬の方法や費用負担はどのようになるか。
市長 本市では、当初から容器包装も製品プラスチックも一括回収しており、方法や費用負担に大きな変化はないと考えている。
議員 マイクロプラスチックによる生態系破壊や人体への影響が懸念されている。本市の小・中学校では、この問題等について、どのように学習しているか。
教育長 小・中学校の理科や保健体育で、プラスチックは自然界では分解されにくく魚等が飲み込んでしまう問題や、巡り巡って人間の健康に悪影響を及ぼすことを学習し、問題意識を持つよう指導している。
議員 本市では、ごみ処理総合計画2022(第1次改定)を策定しているが、プラスチック資源循環促進法の施行に伴い改定が必要だ。改定スケジュールや市民参加について伺う。
生活環境部長 計画の改定は、適時適切に、三鷹市ごみ減量等推進会議での議論やパブリックコメント等を実施しながら進める。
議員 プラスチックから転換する生活・社会等を、事業者、市民、行政が一体になり創ることが重要だ。
市長 指摘のとおり、プラスチックを使用しないこと等を文化として享受していく社会を、どう創り出すか

コロナ治療薬イベルメクチンの
薬事承認を求めよ



いのちが大事
伊沢けい子 議員



ということを戦略的に考えていくべきと考えている。
議員 厚労省は新型コロナウイルス感染症の予防、初期治療、後期治療のいずれにも効果があるイベルメクチンを昨年より治療薬として認め保険適用も可能だとしている。しかし国が薬事承認をしなければ適応外使用になるので普及していない。自宅療養によって重症化する患者を市内で出さないために、イベルメクチンの薬事承認を市は国に求めるべきだ。所見を伺う。
保健医療担当部長 専門的な独自の判断基準を持ち得ない基礎自治体として、国に薬事承認を現段階で求めることは慎重であるべきだと考えている。
議員 本年2月、東京都医師会の尾崎会長が自宅療養者の重症化を防ぐ目的でイベルメクチンの緊急使用を提言し、8月にも再び提言していることを市長は認識しているか伺う。
市長 提言していることは市としても承知している。
議員 市内の感染者や自宅療養者の増加に照らし合わせて、提言は有効であると考えている。所見を伺う。
市長 自宅療養を余儀なくされている患者が多く発生している現状を踏まえ、現場の医師が取り得る選択肢の1つとして提言されたものと認識している。
議員 東京都医師会よりも身近なものとして、三鷹市医師会がある。三鷹市医師会の会長と懇談することや申し入れをすることはできるのではないかと。
健康福祉部長 状況にに応じて本市の医師会とも情報共有できればと考えている。

希望を広げる人間尊重の
まちづくりを



いのちが大事
野村 羊子 議員



議員 認知症のある人の意思や心情を理解し、本人を尊重した暮らしを支える支援策が必要だ。
市長 本市でも認知症の人を地域で支えたい事業を推進している。
議員 意思決定や行動の自由が尊重され、生きがいと役割を奪わない、人と社会の相互の関わり合いを保障することなどを基本理念とする、認知症のある人が希望を持ち暮らせる認知症条例の制定を求める。
市長 認知症に関する課題についても人権基本条例(仮称)における議論と整合性を図りながら在り方の検討を進めていく。
議員 認知症のある人の望みは自分の人生を諦めずに希望を持って自分らしく生きていきたい、私は私としてちゃんと認めて欲しいということだ。所見を伺う。
健康福祉部長 本市でも地域共生社会の実現を掲げ取り組んでいる。全ての人が自分らしく、生きつらさを抱えないようなまちにしていく必要があると考えている。
議員 絵画系アーティストの支援策としてアート・トリレやシャッター・アートの寄附の目標金額に対する現在の寄附金額を伺う。
市長 目標金額は3千万円で、7月末時点で20件、約280万円余となっている。
議員 本年度のふるさと納税による市民税減収の見込み額について伺う。
市民部長 本年度のふるさと納税の市税への影響額は現時点で約8億円を超える見通しだ。
議員 シブリ美術館への寄附について海外のファンも非常に多い施設であることから海外からの応援に対応できれば、より寄附金額も伸びていくものと考えている。その課題について伺う。
スポーツと文化部長 ふるさとチョイスの枠組みを活用して海外からのシブリ美術館への寄附を受け入れる仕組みを準備している。
議員 本市では他の自治体へのふるさと納税による市民税の減収が拡大し財政運営に大きく影響している。本年度のふるさと納税によ

コロナ対策などの主要施策に
柔軟に対応せよ



令和山桜会
池田 有也 議員



希望を持って自分らしく生きていきたい、私は私としてちゃんと認めて欲しいということだ。所見を伺う。
健康福祉部長 本市でも地域共生社会の実現を掲げ取り組んでいる。全ての人が自分らしく、生きつらさを抱えないようなまちにしていく必要があると考えている。
議員 絵画系アーティストの支援策としてアート・トリレやシャッター・アートの寄附の目標金額に対する現在の寄附金額を伺う。
市長 目標金額は3千万円で、7月末時点で20件、約280万円余となっている。
議員 本年度のふるさと納税による市民税減収の見込み額について伺う。
市民部長 本年度のふるさと納税の市税への影響額は現時点で約8億円を超える見通しだ。
議員 シブリ美術館への寄附について海外のファンも非常に多い施設であることから海外からの応援に対応できれば、より寄附金額も伸びていくものと考えている。その課題について伺う。
スポーツと文化部長 ふるさとチョイスの枠組みを活用して海外からのシブリ美術館への寄附を受け入れる仕組みを準備している。
議員 本市では他の自治体へのふるさと納税による市民税の減収が拡大し財政運営に大きく影響している。本年度のふるさと納税によ

公共施設の利用環境の
整備を進めよ



令和山桜会
吉沼 徳人 議員



だ。本年度の使用率を伺う。
市長 令和3年度、1学期の小・中学校の学校給食における市内産野菜の使用率は暫定値で21・5%となっている。30%が目標値だ。
議員 市内産野菜使用率向上に向けて栄養士への働きかけについて伺う。
教育長 栄養士等で市内産野菜の使用率の向上が図られるよう具体的な取り組みの推進を重ねて依頼している。また、三鷹市学校給食市内産産物活用事業補助金を活用し市内産野菜の使用率の更なる向上に向けて取り組んでいる。
議員 コミュニティ・センター体育館は災害時の避難所にもなっており、災害発生時には多くの市民が避難してくるため、早急な空調設備の設置が必要と考える。所見を伺う。
市長 様々なやり方があるので、検討を進めて段階的に導入を図っていきたい。
議員 空調設備について、何年度頃から設置を開始していくのか伺う。
第二副市長 喫緊の課題だと認識しているので、できるだけ早くに取りかかっていきたい。
議員 大型扇風機は熱中症対策の一つであるとともに空調設備設置後も換気等のために適正な台数が必要と考える。所見を伺う。
市長 適正な換気状況の確保に必要な台数を、体育館の規模等を考慮して、施設を管理する各住民協議会と協議しながら検討したい。
議員 災害発生時には多くの市民が避難所に集まる。長期の避難生活を強いられる状況になった時、喫煙者が喫煙できないことによる精神的な立ち等から、避難者同士のトラブルの発生なども考えられる。特定喫煙所が設置されている連雀コミュニティ・センター以外のコミュニティ・センター及びコミュニティ・センター以外の避難所における避難生活者の喫煙環境はどのように確保されるのか。所見を伺う。
危機管理担当部長 災害時においても受動喫煙を防止する法律及び条例の遵守が求められるため、避難所での喫煙に関しても施設に応じて対応することになると認識している。
議員 災害があった時にたばこを吸える避難所に集まる可能性もある。たばこ税は8億円強の予算計上がされており、納税者還元という考えからも、災害時に喫煙できる施設を用意する必要があるのではないかと。
総務部長 たばこが吸えるか吸えないかで人の避難等に違いが出てくるようなことは避けていきたい。一方で、全員が少しでも心穏やかに過ごせるような運営に努めていきたい。
議員 たばこを吸わないと

いろいろな話も聞く。1週間や10日といった長期の避難生活をする状況になった時、喫煙を我慢できるのか。所見を伺う。



人口減少・少子超高齢社会の課題解決に取り組む



自由民主クラブ
石井 良司 議員

議員 本市の将来人口推計によると今後、都市拡大路線が進み令和20年には人口がピークに達し、その後、人口が減少するものの令和31年でも19万人台を維持する。しかし、人口減少・少子超高齢社会は進むものと考ええる。未来予想をどのように読み解き、まちづくりを進めるのか所見を伺う。

市長 今までの高度成長社会のモデルに代わる長寿化、少子化の時代にふさわしい地域社会モデルやIT化、にぎわいに係る社会経済構成、またコミュニティ行政も含めた大転換が必要になるものと考えている。

議員 令和2年の平均寿命は男性が81歳、女性は87歳、健康寿命は男性72歳、女性74歳だ。健康寿命を延ばし平均寿命との差を縮めることが大切だ。様々な社会的、経済的影響を受ける環境の中で高齢者が元気に地域で活躍できる施策が重要と考える。所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長 高齢者社会活動マッチング推進事業等により、高齢者が地域社会につながりをもち続けられる環境づくりを推進することで高齢者が生きがいを持ち、生き生きと健康な毎日を過ごすことが

総務部長 1週間、10日といった時に、厳しいところがあるかもしれないが、そういったことも含めて運営の委員会で検討したい。

議員 本年の災害対策基本法の改正で個別避難計画の作成が市町村の努力義務となった。内閣の指針では土砂災害などのリスクが高い所に住む人や体の不自由な一人暮らしの人等、優先度の高い人から計画づくりを始めることとなっている。本市における個別避難計画の進捗状況や関係機関等との連携及び人材確保の状況について所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長 期待できるものと考えている。近年、豪雨による土砂災害が全国的に増加している。個人レベルで自宅周辺、地域の災害危険度をハザードマップ等で確認し自主避難する等、防災意識の定着が重要だ。共助を中心とした防災都市づくりやコミュニティの在り方、防災NPOみたか(仮称)の取り組みについて所見を伺う。

市長 隣近所との付き合いの希薄化で共助の取り組みが脆弱になっている。様々な災害に対応するためには公助のシステムだけでは間に合わず、共助の仕組みをどのように市民とともに作っていくのかが大きな課題になる。現在、防災NPO組織の立ち上げに向けて着手し始めたところだ。



誰もが支え合う地域共生社会の実現に向けて



公明党
大倉あき子 議員

議員 弱い立場にある人にコロナ禍が直撃している。行政の支援を強化し、地域共生社会に向けた仕組みづくりが重要だ。本市の社会的孤立の現状を伺う。

市長 市民の抱える課題が複雑化、複合化しており各部署等との連携が重要になっている。地域で継続的に寄り添い、関係機関と連携できる包括的な支援体制の構築を目指す。

議員 市民の複雑化、複合化した課題を一体的に支援する、市町村の任意事業とされた重層的支援体制整備事業の展開について伺う。

市長 地域福祉コーディネーターとも連携を図り、多機関協働と参加支援の機能も含めた重層的支援体制の整備に努めていく。

議員 国・自治体の医療的ケア児への支援が責務となった。支援対象を限定せず安全安心な受け入れ環境の整備が必要だ。受け入れ支

への支援の整備が求められる。グリーフケアの視点を持った相談体制の充実が必要と考える。見解を伺う。



誰一人取り残さない防災・減災施策を



公明党
粕谷 稔 議員

議員 災害の激甚化、頻発に、常に備えなければならぬ時代になっている。地域社会活動団体の高齢化に対応した新たな地域防災の担い手創出について伺う。

市長 新たな担い手となるよう、若い世代や防災とは別の目的で活動している団体等へ防災出前講座を実施するほか、防災キャンプ等への支援を進めてきた。

議員 浸水想定区域内にある避難所の見直し等が重要だ。今後、国立天文台とのまちづくりの協定の中でも検討されると考えるが、方向性について所見を伺う。

市長 避難所の移転等の可能性や浸水対策の検討を行うこととしている。国立天文台とは、上部団体である自然科学機構の機構長と会った上で、今後の展開や可能性等について協議したい。

議員 避難所の見直しから設置までは一定の時間を要する。旧どんぐり山施設等の活用等、暫定的な避難所の開設が必要ではないか。

市長 暫定的な活用を含めて一層の検討を進めたい。



野川の相曽浦橋の河川監視カメラ

議員 野川の相曽浦橋の河川監視カメラの運用が始まった。ホームページへのアクセスや設置による効果、更なる周知について伺う。

危機管理担当部長 8月15

市民目線の市政に向けた取り組みについて



都民ファーストの会
山田さとみ 議員

議員 都の補助を活用し、プレミアム付商品券事業を実施すべきだ。検討状況を伺う。

市長 昨年度の当該事業について反省点を最終的にまとめいく必要がある。

議員 本年度の保育園待機児童は70人だった。この結果を受け止め、来年4月には解消しなければならぬと考える。所見を伺う。

第一副市長 結果は真摯に受け止めている。来年度はマッチングを中心に丁寧な情報提供を行い認可保育園開設支援、一、二歳児の枠の増により解消を目指す。



子育て・教育施策の更なる充実を



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 議員

議員 昨年度に新設や増設を行った小学校区の学童保育所以外でも待機児童が発生している。この状況への所見と今後の対応を伺う。

子ども政策部長 保護者の就業率増加など、多様な要因によるものと認識している。公共施設や民間物件の活用を検討していきたい。

議員 教員が動画教材を作成する取り組みについて、進捗と活用状況を伺う。

教育長 市内教員による各教科部会で、それぞれ10本、計10本程度の動画を作成した。9月中に家庭学習等で視聴できる予定だ。

議員 民間の動画教材がある中で、教員が動画を作成する意義について伺う。

教育長 教員を一番理解している教員が作成するため、きめ細かな内容になる。また、授業改善に向けた教員の研修効果もある。

議員 本施策は教員の負担も多いと考える。本施策の意義や今後の活用について教員によく説明するとともに、状況を考慮しながら展開するべきではないか。

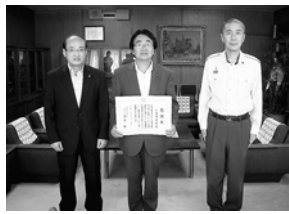
教育長 そのとおりだ。心していく。

その他の質問 三鷹市の業務について

令和3年(2021年)11月3日

三鷹消防署から
感謝状をいただきました

令和3年9月24日、救急業務の充実発展に多大な貢献をしたとして、三鷹消防署から感謝状をいただきました。本市議会では全議員が上級救命技能認定を受けています。



本会議と決算審査特別委員会のインターネット配信を行っています

<https://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/>

三鷹市議会では、インターネットによる本会議と決算審査特別委員会の配信を行っています。なお、予算審査特別委員会につきましては令和4年3月から配信を行います。

4～7面の各議員タイトル欄の二次元バーコードからも代表質疑・一般質問の模様をご覧くださいことができます。



令和3年第2回臨時会・第3回定例会審議結果

議案等の名称			議員名	議決結果	令和山桜会		自由民主クラブ		公明党		民主緑風会		日本共産党		いのちの野村		伊沢けい子		無半田伸明		都山さとみ		つ成田ちひろ		賛成	反対	議決月日							
					池田有也	吉沼徳	渥美典	伊東光	土屋けん	後藤貴	伊藤俊	穴戸治	吉野和	石井良	寺井均	赤松大	大倉あ	粕谷穂	岩見大	小幡和	高谷真	谷口敏	大城美	紫野あ				前田ま	栗原けん	嶋崎英	野村羊	伊沢けい子	無半田伸明	都山さとみ
第2回臨時会	補正予算	令和3年度三鷹市一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○																			23	4	7/30						
	陳情	「3陳情第7号 今までの一般質問通告一覧表に変えて、実際に議員が質問する「一般質問骨子」を資料として配布することについて」の撤回について	承	○	○	○	○																				27	0	7/30					
第3回定例会	条例	三鷹市特定個人情報保護条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○																				19	7	9/8					
		三鷹市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○																					23	3	9/8				
		三鷹市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○																						23	3	9/8			
		三鷹市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○																						26	0	9/8			
	補正予算	令和3年度三鷹市一般会計補正予算（第6号）	可	○	○	○	○																						26	0	9/1			
		令和3年度三鷹市一般会計補正予算（第7号）	可	○	○	○	○																						24	3	9/30			
		令和3年度三鷹市一般会計補正予算（第8号）	可	○	○	○	○																						24	3	9/30			
		令和2年度三鷹市一般会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○																						20	7	9/30			
	決算	令和2年度三鷹市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○																						20	7	9/30			
		令和2年度三鷹市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		令和2年度三鷹市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○																						20	7	9/30			
		令和2年度三鷹市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○																						20	7	9/30			
	議案	令和2年度三鷹市下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定について	可認	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		三鷹市牟礼老人保健施設大規模改修工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		三鷹市総合スポーツセンター及び三鷹市生涯学習センターの指定管理者の指定について	可	○	○	○	○																						24	3	9/30			
		三鷹市新川テニスコート及び三鷹市大沢総合グラウンドの指定管理者の指定について	可	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		三鷹中央防災公園の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		名誉市民の推挙について（安田養次郎氏）	同	○	○	○	○																						26	0	9/30			
		名誉市民の推挙について（沼尻竜典氏）	同	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		教育長の任命について（貝ノ瀬滋氏）	同	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		総合オンブズマンの委嘱について（中村一郎氏）	同	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		総合オンブズマンの委嘱について（片桐朝美氏）	同	○	○	○	○																						27	0	9/30			
	議員提案	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可	○	○	○	○																						27	0	9/30			
		新型コロナウイルス感染症ワクチンの安心・安全、円滑な接種の促進を求める意見書	可	○	○	○	○																						15	11	9/30			
		子どもと子育て世帯への経済的支援を求める意見書（注）	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	13	14	9/30
		国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書（注）	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	13	14	9/30
		大深度地下法の廃止を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	×	×	7	19	9/30	
		消費税率の引下げとインボイス制度の実施中止を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	×	×	11	15	9/30	
ジェンダー平等施策を進めることを求める意見書		可	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	17	9	9/30		
出入国管理制度の抜本的改善を求める意見書（注）		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	13	14	9/30		
沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書		可	○	○	○	○																						退	○	○	26	0	9/30	
コロナ禍で影響を受ける中小企業、個人事業主、働く人々への緊急支援対策を求める意見書（注）		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	13	14	9/30		
請願	生活保護の利用しやすい制度へ抜本的な見直しを求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	×	×	11	15	9/30			
	玉川上水の生物多様性を守ることを求める意見書	可	○	○	○	○																						退	○	○	22	4	9/30	
	新型コロナウイルスワクチンの未成年者（12歳未満を含む）への接種の見直しを求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	退	×	×	7	19	9/30			
陳情	消費税率の引下げとインボイス制度の実施中止を求めることについて	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	11	16	9/30				
陳情	「地域的な包括的経済連携（RCEP）から撤退することを求める意見書」提出を求めることについて	継																													9/30			

※ 会派名の略称は次のとおり
※ 議員名の下括弧は党派名。略称は次のとおり
※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり
※ 議員氏名欄の意味はそれぞれ次のとおり
※ 討論の様子については、市議会ホームページ（1面題字下参照）の市議会中継（録画中継）でご覧になれます。
(注) 可否同数のため、議長裁決

【いのち】いのちが大事 【無】無所属 【都】都民ファーストの会 【つ】つなぐ三鷹の会 (三鷹市議会議員 条例定数28人 現員数28人)
(自)自由民主党 (公)公明党 (立)立憲民主党 (共)日本共産党 (維)日本維新の会 (都)都民ファーストの会 (無)無所属
【可】可決 【否】否決 【承】承認 【認】認定 【可認】可決及び認定 【同】同意 【不】不採択 【継】継続審査
【○】賛成 【×】反対 【―】討論あり 【議】議長のため採決には加わりません 【退】退席 【欠】欠席

《令和3年第4回定例会の予定》

11月30日（火）	本会議（一般質問） ※ 第1回請願・陳情締め切り（午後5時まで）	12月10日（金）	常任委員会
12月1日（水）	本会議（一般質問）	13日（月）	常任委員会
2日（木）	本会議（議案上程）	14日（火）	東京外郭環状道路調査対策特別委員会 調布飛行場周辺利用及び安全対策特別委員会
7日（火）	本会議（議案・請願等審議）	15日（水）	三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会 ※ 第2回請願・陳情締め切り（正午まで）
8日（水）	常任委員会		
9日（木）	常任委員会	21日（火）	本会議（議案等審議）

※ 新型コロナウイルスの影響等により、上記日程は変更になる場合があります。なお、本会議の開議時間は、通常午前9時30分を予定しています。
※ 請願・陳情は、本庁舎3階の議会事務局で受け付けています。なお、第1回請願・陳情締め切り時での提出を希望される場合は、なるべく定例会招集前に行われる議会運営委員会の開催日（通常、定例会第1日目の3日前）までにあらかじめ会派または議員にご相談をいただようお願いいたします。

「みたか議会だより」は三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。 ⇨シルバー人材センター ☎ 0422(48)6721